

副本

平成24年(ワ)第3671号, 平成25年(ワ)第3946号, 平成27年  
(ワ)第287号, 平成28年(ワ)第79号, 平成29年(ワ)第408号,  
平成30年(ワ)第878号

大飯原子力発電所運転差止等請求事件

原告 竹本修三 外3313名

被告 関西電力株式会社 外1名

## 証拠説明書

(丙337~338号証)

令和3年2月15日

京都地方裁判所第6民事部合議はB係 御中

被告訴訟代理人 弁護士 小 原 正 敏



弁護士 田 中 宏



弁護士 西 出 智 幸



弁護士 神 原 浩


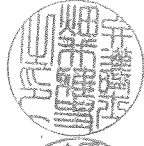
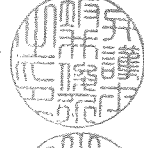
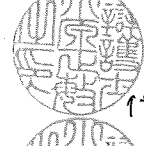
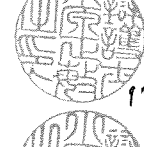
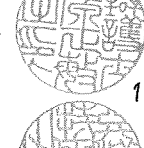




弁護士 原 井 大 介



弁護士 森 拓 也



弁護士	辰	田		淳	
弁護士	畑	井	雅	史	
弁護士	坂	井	俊	介	
弁護士	山	内	喜	明	
弁護士	谷		健 太	郎	
弁護士	酒	見	康	史	
弁護士	中	室		祐	
弁護士	持	田	陽	一	

号証	標 目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立 証 趣 旨	
丙 337 の1	Near-Source Strong Pulses During Two Large M <sub>JMA</sub> 6.5 and M <sub>JMA</sub> 7.3 Events in the 2016 Kumamoto, Japan, Earthquakes	写し	H31.2.5	染井一寛, 宮腰 研, 吉田邦一, 倉橋奨, 入倉孝 次郎	3つの強震動生成域 (SMG A) が配置されたモデル (Figure10(b)) によれば, 熊 本地震のKMMH16の観測波形を 再現した波形に対する寄与度 はKMMH16の直下に配置された 強震動生成域 (SMG A 2) が高いこと
丙 337 の2	上記訳文	写し	R3.2	被告関西電力 株式会社	
丙 338	強震動 観測記録 とその特性 (抜粋)	写し	H30.2.20	翠川三郎	震源からの距離が近くなると 地震動の振幅が飽和する, つ まり振幅は一定の値を超え ると, それ以上には大きくな らないとされていること